

指摘事項・意見等一覧表

- 【指摘事項】
- ・法令、基準等に違反していると認められるもの
 - ・その他適正を欠く事項で是正する必要が認められるもの

対象なし

- 【意見等】
- ・事務の執行、事業の管理状況等について、効率性、経済性又は有効性の観点から、検討する必要があると認められるもの
 - ・その他法令、基準等には違反しないが、事務処理上改善する必要があると認められるもの
 - ・制度、組織等に関する課題のうち、特に要望する必要があると認められるもの

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	15	管理部 学 事課	債権管理について (ア)市立幼稚園保育料及び入園料について	<p>令和2年度末時点の未収金28万円のうち、令和2年度末時点で時効の完成期日を経過している債権は6件、計24万円で、いずれも令和3年6月1日付けで不納欠損処理を行っています。</p> <p>この6件の債権に係る台帳を確認したところ、うち1件は、「連絡記録」への履行状況、対応状況等の記載は令和2年度のみで、滞納当時の平成26年度から令和元年度までの記録が残っていませんでした。また、残りの5件については、平成22年度以降の記録が残っていませんでした。</p> <p>債務者との交渉内容が記録されていないと時効に至るまでの債権管理の取組について説明責任を果たすことができず、放置していたのではないかといった疑念を持たれる恐れがあります。また、時効完成後は遅滞なく不納欠損処理を行うべきであったと考えます。</p> <p>未収金の金額は大きくありませんが、債権管理の取組が不十分であると言わざるを得ません。台帳には、宝塚市債権管理事務規則に定められた、督促状の発送日、履行状況、対応状況等を詳細に記録し、適切な債権管理に取り組んでください。</p>	<p>市立幼稚園保育料及び入園料の債権管理に当たり、台帳を整備し、交渉内容等の記録を行っています。今後も宝塚市債権管理事務規則にのっとり台帳管理を適切に行い、未収金の回収に取り組んでいきます。</p>

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	16	管理部 学 事課	債権管理について (イ)修学資金給付 金返還金について	<p>令和2年度末時点で時効の完成期日を経過している債権は9件、計26万円(未収金全額)です。</p> <p>これらの債権に係る台帳を確認したところ、全ての債権において、平成21年度以降の「奨学金未返還分督促記録」への履行状況、対応状況等の記録が残っていませんでした。併せて令和2年度の滞納額削減に関する取組内容を確認したところ、「私債権であることから債務者調査に限界があり、市外転出者等の居所の特定に苦慮しているため、不納欠損処理を検討している。」旨の説明を受けました。</p> <p>債務者との交渉内容が記録されていないと時効に至るまでの債権管理の取組について説明責任を果たすことができず、放置していたのではないかといった疑念を持たれる恐れがあります。また、時効の援用を要する私債権であっても、宝塚市債権管理条例により、消滅時効が完成したときは、市の債権及びこれに係る既に発生した履行の遅滞に係る損害賠償金その他の徴収金を放棄することができることとされています。</p> <p>未収金の金額は大きくありませんが、債権管理の取組が不十分であると言わざるを得ません。宝塚市債権管理条例に基づく適切な処理を行ってください。</p>	<p>時効の完成期日を経過している9件のうち1件(5万円)については、住所確認ができたため、令和3年10月29日付けで返還を請求しましたが、本人から消滅時効の援用があったことから、令和3年11月1日付けで不納欠損処理を行いました。残る8件(計21万2千円)については、債務者の居所が不明であること、また、消滅時効年数を経過していることから、令和3年11月1日付けで債権管理条例に基づく債権の放棄及び不納欠損処理を行いました。</p>
3	決算	17	議会事務局 議事調査課	市議会会議録の ホームページ掲載 について	<p>市議会本会議及び委員会等の会議録における市ホームページでの公開時期は、近隣市と比較しても遅い状況でした。公開までに長い期間を要することについては、「本会議録は、正確性を求められており、校正作業等は印刷前の校正を含め、原則計3回、複数の職員で慎重に行っている。また、委員会の会議録は、実質的な議案審査が行われる常任委員会及び特別委員会が主なものであり、出席者も多く、発言内容も専門用語や略語など、間違っ反訳しやすい言葉が含まれている。音源も発言位置によっては、クリアに録音できなかったり、外部の雑音を拾ったりするため、校正作業等は、本会議以上に時間を要する。」旨の説明を受けました。また、「他市と比較して、本市は会期日程が長いことや会期中に作成しなければならない」とされている委員会報告書の内容を充実させており、会議録校正作業等に携わる時間を十分に確保することが難しい状況である。」旨の説明を受けました。</p> <p>会議録をできる限り早期に公開することは、宝塚市議会基本条例における議会の活動原則である「市民に開かれた議会をめざし、情報公開及び市民参加の促進に努めること。」にも寄与する重要な業務であると考えますので、現状より早期に公開できるよう他市の取組を研究するなど工夫して取り組んでください。</p>	<p>議会の会議運営等を優先しなければならないことなどから、当該業務委託の工程における、反訳原稿の校正作業のための時間確保が難しい状況となっており、結果として、会議録の作成にかなりの時間を要しています。</p> <p>このため、今後は、校正作業のあり方も含め、期限を定めて、校正作業を計画的に進めることができるよう、議事調査課全体の業務のスケジュール及び校正作業の進捗状況を可視化して、各職員の業務を平準化し、校正に専念できる作業環境の改善に取り組むたいと考えています。</p> <p>あわせて、正確でスピーディーな反訳の前提となる音声データの精度を高めるため、音響設備の環境改善に向けた検討を進めたいと考えています。</p>

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	18	企画経営部 政策推進課	ふるさと納税に係る取組状況について (ア)ふるさと納税	<p>ふるさと納税寄附金の受入状況は、令和元年度が1億8,954万円(4,707件)、令和2年度が1億2,409万円(3,410件)であり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、いわゆる巣ごもり需要が増加し、全国的に寄附金額を伸ばした自治体が多い中で、本市は大幅な減少となりました。</p> <p>このことについて、「寄附の際に選択される返礼品に偏りがある中、本市の返礼品として人気のある宝塚歌劇の新作ブルーレイが新型コロナウイルス感染症の影響により公演が中止になったため、予定していた返礼品として追加できなかったことなどから寄附金額が減少した。」旨の説明を受けました。</p> <p>人気の返礼品の取扱いが想定外の事態となった影響があるとしても、全国的な需要増の好機を逃さず寄附金額を増加させるため、本市の強みを活かした戦略的な取組が必要ではないかと考えます。令和2年度には、寄附金額の増加に向けた取組の一貫として、「返礼品の更なる拡充を図るため、新規事業者を9社追加した。」とのことですが、寄附者が本市にふるさと納税をして良かったと思えるような事業への寄附金の活用やそのPRも重要です。先進自治体の取組事例等の研究も行い、更なるふるさと納税の寄附の獲得に取り組んでください。</p>	<p>寄附額1億円を超える自治体の多くは、ポータルサイトを2つ以上保有していること、また寄附者が利用するポータルサイトの固定化が見受けられること等を踏まえ、令和3年10月から新たなポータルサイトの企画・運営会社と契約を締結し、新たな寄附者の獲得に向けた取組を実施しました。</p> <p>本市の強みを活かした戦略として、寄附額の約70%を占める宝塚歌劇のコンテンツを活用し、更なる寄附額増につながる取組として、宝塚歌劇に関連した返礼品のラインナップの充実を図りました。また、多くの観光客が訪れる中山寺へ新たにカタログやチラシを設置することで、市外の方へ本市ふるさと納税のPRを実施しました。</p> <p>魅力ある事業への寄附金の活用やPRについては、寄附金の活用を特定事業に限定した「クラウドファンディング型ふるさと納税」を実施し、返礼品充実のほか、寄附目的を新たに創出することを通じて寄附の獲得に取り組んでいる等の先進自治体の取組事例や効果を参考に、本市での導入も検討していきます。</p>
3	決算	19	企画経営部 政策推進課	ふるさと納税に係る取組状況について (イ)企業版ふるさと納税	<p>令和2年度から企業版ふるさと納税制度を活用した寄附の受入れを開始していますが、初年度の受入実績はありませんでした。所管課からは、今後の取組として「企業とつながりのある担当課とともに企業に対して積極的な営業活動を行う。」旨の説明を受けましたが、本市の地域再生計画の内容を見ると、一般的な事業内容となっており本市独自の特色が盛り込まれたものではないと考えます。</p> <p>企業版ふるさと納税については、まだ制度の認知度が低く企業に対する営業活動も必要であると考えますが、企業に訴求できる魅力的な事業を創出することも含めて本市を寄附先として選んでもらえるよう取り組んでください。</p>	<p>企業版ふるさと納税の制度の認知度が低い中では企業の理解、賛同も得られにくいいため、まずは担当課と連携しながら普段から業務上接点のある企業に対して積極的な営業活動を行っていきます。また、限られた企業のみならず全国の企業に訴求できるような魅力的な事業を検討のうえ、内閣府が作成する企業版ふるさと納税ポータルサイト等でPRしていきます。</p>

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	20	企画経営部 政策推進課	新庁舎・ひろば整備事業について	<p>市役所に隣接していたNTN(株)宝塚製作所跡地の一部を取得し、「いこい・つどい・ささえあう 市民のひろば」をコンセプトに、市民交流の場の創出と新庁舎の建設など行政サービス機能の強化を図るために整備を進めています。ひろば供用開始後の所管部署については、「現時点で決定していないが、協議を進めている。」旨の説明を受けましたが、令和4年4月には、ひろばの一部を供用開始する予定とされていることからすると、整備後のひろばの管理運営について具体化していく時期に来ています。基本構想の策定など当初から本事業に関わってきたこれまでの経緯からも、所管課は、ひろば整備のコンセプトの実現に向けた具体的な利用形態を示した上で、供用開始後の所管部署を早期に決定するとともに管理手法等について万全の引継ぎが行えるよう取り組んでください。</p>	<p>ご指摘のとおり、ひろばの所管部署については早急に決定していく必要があると考えています。令和5年度以降の指定管理者による管理も視野に、関係部署と調整をしながら最も有利でかつ有効な管理手法について関係部署と検討していきます。</p>
3	決算	21	総務部 給 与労務課	正規職員に係る時間外勤務の状況等について	<p>時間外勤務の上限超過人数を前年度比較すると、一定減少しているものの、それでもなお、1箇月45時間の上限を超過する職員は延べ319人、1年360時間の上限を超過する職員は52人見受けられることから、時間外勤務の縮減を図る取組は十分とは言えない状況にあります。令和2年度の取組については「前年度の時間外勤務について要因整理等を行い、改めて時間外勤務の縮減に向けた対策と併せて各部署長に上限時間の遵守について周知した。また、時間外勤務が上限時間を超えた職員の所属長に対して個別にヒアリングを行い、職員の健康保持のために上限時間を遵守するよう改めて周知した。これらの取組の効果として、時間外勤務の縮減に対する職員の意識の向上に寄与したものと考えている。」旨の説明を受けました。</p> <p>しかしながら、令和2年度には他律的業務の指定は行われていませんでした。仮に指定をしていたとしても、他律的業務の比重が高い部署の上限時間である、1箇月100時間以上となる職員は延べ18人、2～6箇月平均80時間を超える職員は22人、年720時間を超える職員は2人、1箇月45時間を超える月数が年7回以上となる職員は7人いました。これらの時間外勤務の状況は、職員の健康保持の観点から容認できるものではなく、規則の定める上限時間を超過する状態となっており、早急に解決策が講じられるべきものです。また、市の歳出削減のためにも時間外勤務はコストであるとの認識を持って効率的に業務にあたることが重要です。時間外勤務を行う個々の職員の勤務状況の把握に努め、時間外勤務の縮減に引き続き取り組んでください。</p>	<p>令和2年度の時間外勤務の上限超過者について、令和3年8月30日付けで各部署へ照会し、令和3年11月26日付けで上限超過に係る要因の整理、分析及び検証を行いました。</p> <p>今後の対策としては、各所属において業務の平準化、業務の効率化、時間外勤務に対する意識改革及び職員の能力向上に取り組んでいただくよう各部署に対して通知するとともに、総務部においても引き続き適正な人員配置に努めます。</p> <p>また、令和4年度以降は庶務事務システムの更新に伴い、所属長が所属内の職員の時間外勤務の時間数をリアルタイムで確認できるようにし、時間数が多い職員の業務平準化を図るなど、常に時間外勤務に対する意識を持つことができる環境を整備する予定としています。</p> <p>なお、令和3年度から財政課、市民税課及び選挙管理委員会事務局を他律的業務の比重が高い部署として指定しました。</p>

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	22	企画経営部 財政課	市立病院への繰出金について	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による患者減少等に起因する減収分を補填するため、市では3回の補正予算を行い、計5億7,000万円の市立病院への補助金を支出しています。</p> <p>しかし、3回目の補助金の算出において平均入院単価58,014円を用いていましたが、実際には64,317円であったことから医業収益が大幅に増加しました。また、国県補助金4億5,048万円の受入れがあったことなどにより、病院事業会計の令和2年度決算における経常損失額は、令和元年度の4億4,622万円に対し4億48万円となり、4,573万円改善していました。</p> <p>令和2年度経常損益額と令和元年度経常損益額との差額を補填するための経営支援を目的としたものであることを考えると、令和3年3月時点において必要最小限の補助金とすることが可能であり、資金不足対策等への支援を考慮したとしても、3回目の2億円の支援は必要がなかったのではないかと考えます。これらの結果として、令和2年度病院事業会計で1億6,006万円の当年度純利益を計上していることには疑問を感じざるを得ません。</p> <p>また、市からの補助金には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(以下「国臨時交付金」という。)が充当されており、これを活用すれば、他の新型コロナウイルス感染症に対応する事業が実施可能であったことを考えると、国臨時交付金の活用方法についても疑問が残ります。市立病院の経営は厳しい状態が続いていますが、その支援については過大なものとならないよう慎重に行ってください。</p>	<p>令和2年度病院事業会計補助金については、帰国者・接触者外来の設置や医療従事者への防疫手当の支払い、患者数の減に伴う減収などの影響が見られたため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市立病院への経営支援を行うため、基準外の繰り出しを実施しました。</p> <p>市立病院への経営支援のための補助金(3回目)については、予算要求時における経常損益見込額により補助金額を積算し、令和3年3月時点においても令和2年度経常損益が明らかではなかったことから支援は必要なものであったと考えていますが、今後も、補助金額が妥当なものであるか精査するとともに、市立病院に対する支援の必要性やその内容について過大なものとならないよう引き続き努めていきます。</p>

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	23	都市安全部 道路管理課 環境部 生活環境課 環境部 管理課	宝塚駅周辺におけるソリオ宝塚都市開発(株)への清掃等業務委託について	宝塚駅周辺における宝塚駅前公衆便所清掃等業務、指定喫煙所清掃管理業務及び市道3420号線外公共施設維持管理業務について、いずれの業務もソリオ宝塚都市開発(株)に特名随意契約により委託しています。特名随意契約の理由について各委託契約によって若干の違いはあるものの、「宝塚駅前のソリオ宝塚と連なった箇所の保守管理・清掃業務であること。個々の諸施設を効率的で利用者の利便性を損ねることなく、一体的かつ安全に保守管理や清掃等の業務を総括して実施できること。」をもって契約を締結していますが、これらのいずれの業務も実態としてソリオ宝塚都市開発(株)から下請業者に再委託している状況にあり、清掃業務については、ソリオ宝塚都市開発(株)と特名随意契約を締結する明確な理由には当たらないと考えます。競争性を持った入札方法に変更することにより、実際に清掃業務を担う業者に直接発注の方が現状の契約方法と比較して経済的かつ効率的であるかどうかを十分に見極めながら、適正な契約となるよう契約方法の見直しを検討してください。	現在の長期継続契約が令和3年度末で終了することから、令和4年度の発注から、保安監視業務についてはこれまでどおり特名随意契約での発注とし、駅前広場等の清掃業務については制限付き一般競争入札への変更を検討します。 (道路管理課) 令和4年度の宝塚駅前公衆便所清掃等業務・指定喫煙所清掃管理業務については、経済性等を比較検討し、適正な契約方法を検討します。 (管理課・生活環境課)
3	決算	24	健康福祉部 健康推進課	産後ケア事業について	産後ケア事業は市内3つの実施機関に委託していますが、訪問型については実施機関によって利用者数に大きな差があります。産後ケア事業は令和2年10月から開始したばかりですが、今後は各実施機関において利用者の立場に立ったより良いサービスの提供や取組の周知に最大限努めていただくとともに、所管課においても産前・産後に係る支援の取組について積極的に周知するよう取り組んでください。	産後ケア事業については、徐々に市民への周知が進み、妊娠中からのお問い合わせも増えてきています。妊娠中から産前・産後サポート事業を利用されている方が、出産後に産後ケア事業を利用し、その後引き続き産前・産後サポート事業や他の子育て支援事業の利用につながるが見受けられます。今後も妊娠・出産包括支援連絡会議等を活用した情報共有や研修を行い、事業間の連携について実施機関へ働きかけ、妊娠届出時のアンケートや妊婦相談による要支援妊婦等の早期把握と適切な支援を実施し、必要な方が産後ケア事業を利用できるよう積極的に周知を行っていきます。 また、市民ニーズに合わせた新たなサービスとして、産後ケア事業の宿泊型の実施なども検討していきます。

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	25	産業文化部 農政課	有害鳥獣防除対策 事業委託について	令和元年度までは、捕獲専従者、補助員、受付者の勤務日数、緊急出動に要する時間、保険費用、諸経費を基に積算した年間委託金額を支払っていたが、令和2年度からは、国の積算基準を基に積算した単価契約方式に改められており、年間支払限度額(以下「限度額」という。)を1,090万円に設定しています。活動実績の確認も適正に行われており、活動実績に応じた支出という点では、令和元年度までの契約方式から改善が図られています。令和2年度は、実績額が限度額を70万円超過したため、限度額の1,090万円の支出となっていた。単価契約方式でありながら活動実績に応じた金額が支払われていない点については契約上改善すべき点があると考えます。今後さらに実績額と限度額の乖離が大きくなることも考えられることから、契約内容の更なる見直しを図り、適正な支出ができるよう検討してください。	捕獲実績数に応じた委託金の支払いができるよう、直近の捕獲実績数やワナの設置実績に基づいた、より正確な設計ができるよう努めます。また、野生鳥獣による農作物被害があり、一定以上の被害防止効果が期待できる箇所については、鳥獣被害防止総合対策交付金事業(国庫補助事業)や、農作物被害防止事業(市補助事業)における侵入防止柵の設置を推進し、有害鳥獣防除対策事業委託の実績額の抑制に繋がります。 なお、令和2年度上半期に比べ、令和3年度上半期における有害鳥獣の捕獲頭数は、減少しており、執行額が昨年度より376,860円減少しています。
3	決算	26	産業文化部 農政課	園芸の魅力発信事 業委託について	新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で、自宅で楽しめる初心者でも扱いやすい園芸体験パックを設け、希望する市民1,000人に配布するとともに、その作り方を紹介する動画を制作し、YouTubeで配信を行っています。このほかInstagramで作品の写真投稿コンテストを開催するなど各種プロモーション活動を実施しています。園芸体験パックの引取期間の園芸振興センターにおける植物販売の売上げが、前年度比1.69倍になり、これらの取組が一定の経済効果に寄与したと考えられ、コロナ禍における本市の特色を生かした取組として高く評価できます。令和3年度もコロナ禍が収束していないことから、令和2年度の応募件数が多数あったことなどを踏まえて、より多くの市民に園芸の魅力について広く発信できる事業となるよう取組を進めてください。	令和3年度は、園芸体験パックを4コース1,300人の当選枠に4,852人の応募があった。また、Instagramを中心にSNS発信をしており、宝塚うち園芸に関する情報を随時更新しています。さらに、紙媒体の広報物を制作し、令和3年度中に3回の発行を予定しています。引き続き、市民の方に園芸の魅力を発信し、知っていただく機会を創出できるよう取り組んでいきます。
3	決算	27	産業文化部 観光企画課	観光宣伝事業補助 金(アートによる観 光まちづくり事業) について	コロナ禍でのイベント実施のため、開催期間を5箇月に延長し、感染症対策を徹底した上で、ライブパフォーマンスやアート作品の展示、子ども向けのワークショップなどを実施するとともに、本事業を広く認知してもらい、自宅でも気軽にアートに親しんでもらえるよう、各種催しをライブやアーカイブで配信を行っています。令和2年度はコロナ禍での事業実施となったことから、動画視聴者を含めた参加人数は9,933人となり、コロナ前に計画していた参加人数50,000人には及びませんでした。大勢の人々に来場してもらうような大規模イベントが実施できず、その多くが中止を余儀なくされる現状を踏まえると、限られた条件下で、一人でも多くの人に参加してもらえるようイベント内容や実施方法に工夫を凝らした取組を行ったことについては評価できます。今後は、令和2年度に取り組んだ経験を踏まえてより多くの参加が得られるよう工夫を凝らし、本市の魅力や文化を広く発信できるよう、更なる取組を進めてください。	前年度同様、開催期間を延長し、感染防止対策を徹底しながら各種イベントを実施しています。取組内容にも創意工夫を施し、新たに“文化芸術のまち宝塚”ならではの付加価値の高い企画にもチャレンジしています。また、前年度から引き続き実施しているイベントについても、新たな要素を付加することで、より魅力ある企画となるよう努めています。令和3年11月末現在、動画視聴者を含むイベント参加人数は15,000人超と前年度を上回る実績を記録しており、今後も前年度の経験を踏まえ、より多くの方に本市の魅力や文化を広く発信できるよう、取組を進めていきます。

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	28	管理部 学 事課	就学援助費の支給 について	<p>就学援助費を原則として学校長名義の口座に振り込むこととしている理由については、「学校によって教材費や校外活動費等の支払を学校徴収金から行っている場合があり、市から就学援助費の支払があった際に精算するため、振込先を学校長名義の口座としている。」旨の説明を受けました。就学援助費の請求は各学校長から随時行われているとのことですが、学校長の請求が行事等の実施後となった場合、一時的ではありますが学校園徴収金の管理口座から立替払をしていることとなります。「宝塚市立学校園徴収金取扱要綱」で会計間の経費流用が認められていないことも踏まえながら、所管課においては、就学援助費に係る各学校長からの請求は行事等の実施前に必ず求めるなど、学校園徴収金口座からの立替払が発生しない仕組みを構築し、適正な学校園徴収金の管理に努めてください。</p>	<p>現状においては、学校によって教材費や校外活動費等の取扱いが異なり、その取扱いをすぐに変更することは難しいですが、各学校の状況等を把握しながら、「宝塚市立学校園徴収金取扱要綱」に基づく学校園徴収金の取扱いについて検討し、適正な管理に努めます。</p>
3	決算	29	管理部 学 校給食課	給食事業に係る施 設修繕について	<p>給食事業において、一括発注が可能であったのではないかと考えられる事例があったことは、令和元年度決算審査「給食室等の修繕について」のみならず、平成27年度定期監査「給食用備品の発注について」においても意見しているところです。今回、令和2年度における施設修繕の発注状況を確認したところ、これまでと同様の事例が見受けられました。</p> <p>本市の契約事務マニュアル(施設修繕編)では、「130万円を超える案件については、契約課で工事として発注すること。」とされていますが、今回の契約事例について、130万円を超えないよう分割発注を行うことで工事契約を回避しようとする意図があったのではないかと推察されます。また、令和3年4月12日付け総務部長通知「契約事務の適正な執行について」では、「市内業者の受注機会の確保のため、全ての案件において全庁を挙げて分離分割について検討する必要があることを考慮しつつ、事業の効率的な執行なども踏まえ、適度な発注規模の設定に努める。ただし、入札逃れとなるような設定はしない。」とあります。これらのことを踏まえ、所管課においては、発注規模について安易な設定を行わないよう、また、入札逃れと疑念を抱かれることがないように適正な契約事務の執行に努めてください。</p>	<p>可能な限り早期に修繕の詳細の精査・決定を行い、施設保全に関する技術的支援を施設マネジメント課に依頼するとともに、契約事務マニュアルに従った適切な契約を行うよう努めていきます。</p>

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	30	学校教育部 教育研究課	GIGAスクール構 想の実現について	<p>GIGAスクール構想に係る経費において、次期タブレット端末の更新予定は「市が次期タブレット端末を整備することになった場合、令和8年度に莫大な経費が必要になる可能性がある。なお、今回の端末は5年間のリース契約としているが、OS(オペレーティング・システム)のサポート期限によっては1年間の再リースをする予定である。」旨の説明を受けました。次期タブレット端末の整備に際し、市が多額の財政負担をすることがないように国に要望しているとのことですが、令和3年度から発生する運用経費による市の財政への影響は大きく、更新時にこれ以上の財政負担となれば市の財政運営が更に厳しさを増すことが予想されることから、運用経費についても国に要望をしていくよう努めてください。</p> <p>なお、タブレット端末の運用について、各家庭でのネットワーク環境の整備などオンラインでの実施に当たりいくつかの課題があるとの説明を受けました。コロナ禍の活用について様々な方法があると考えますが、各家庭や学校間で教育環境に差が出ないように留意しながら、タブレット端末が十分に活用できるよう取り組んでください。</p>	<p>ご指摘いただきました運用経費については、活用できる補助金等は積極的に活用していきながら、国に対しても要望をしていきます。</p> <p>また、タブレット端末の利活用についても、「GIGAスクール活用推進計画」を策定し、GIGAスクール構想の推進に努めていきます。</p>
3	決算	31	市民交流部 国民健康保 険課	国民健康保険事業 費について	<p>県支出金のうち保険者努力支援制度に基づく交付金は、厚生労働省が定めた評価指標における実施率、実施状況に対し点数化を行い、その結果に応じて市町村に交付されています。</p> <p>令和2年度までの取組状況に対する令和3年度評価実績は1,000点満点中399点であり、県下41市町のうち最下位となっています。</p> <p>評価実績向上に向けた今後の取組内容として、「滞納者との接触機会の増加等により保険税収納率の向上を目指す。また、健康推進課等庁内各課と連携することで、特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の向上を図る。」旨の説明を受けました。</p> <p>保険者努力支援制度に係る取組状況については、令和元年度決算審査においても意見しています。短期的な達成が困難であることは理解できますが、現状の取組内容では十分でないことは明らかです。</p> <p>令和3年度より、保険税の収納事務が国民健康保険課に移管されています。賦課・収納の一体化により、保険税収納率の向上を図り、収入の確保及び評価実績の向上による交付金の獲得に努めてください。また、特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率についても、引き続き関連部署との連携を深め、評価実績の向上に向けて取組を進めてください。</p>	<p>令和3年度より、保険税の収納事務が国民健康保険課に移管され、賦課・収納が一体化したことを生かし、保険税収納率の向上を図り、収入の確保及び評価実績の向上による交付金の獲得に努めます。また、特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率については、引き続き関連部署との連携を深め、評価実績の向上に向けて取組を進めていきます。</p>

年度	監査区分	番号	部課	監査項目	監査結果の内容(概要)	措置結果の内容(概要)
3	決算	32	健康福祉部 介護保険課	介護保険事業費について	<p>第7期事業計画期間における基金残高は、計画期間の初年度(平成30年度)から最終年度(令和2年度)末までで7億4,210万円増加しています。また、計画では計画期間中に8億円を取り崩して介護給付費に充てる予定でしたが、介護給付費が見込みどおり伸びなかったため、取崩しはしなかったとのことでした。基金は保険財政の安定した運営に重要な役割を果たすものですが、保険給付のために収入した保険料が基金の原資となっていることから、必要以上の基金残高を保有することは適切ではないと考えます。</p> <p>また、令和2年度の不用額は26億1,916万円となり、令和元年度から13億4,965万円増加しました。その要因として「新型コロナウイルス感染症の影響により、どれだけ給付費が伸びるかが見込めなかった。」旨の説明を受けました。しかしながら、この不用額は予算の11.2%を占めており、大きすぎるのではないかと考えざるを得ません。</p> <p>令和2年度の介護保険事業費会計予算は、第7期事業計画におけるサービス利用状況、サービス給付費の推計値等に基づいて編成しています。令和元年度においても既に推計値と実績値が乖離し、多額の不用額が発生したことも考慮すれば、令和2年度予算においては、補正予算等で適切に対応し、不用額を整理することも可能であったと考えます。</p> <p>また、介護保険事業費会計は、一般会計からの繰入れが行われています。介護保険事業費会計において多額の不用額が発生したことと連動して、一般会計から介護保険事業費会計への繰出金の不用額が3億5,321万円発生したことから分かるように、一般会計に対する影響も少なくありません。</p> <p>第7期事業計画期間中には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり給付費を正確に推計することが困難な状況であったとはいえ、給付費の算出は被保険者が負担する保険料の決定にも関係します。今後はより正確な給付費の算出に努め、適切な事業計画の策定と予算編成に取り組んでください。</p>	<p>3年を1期とする介護保険事業計画策定に際しては、被保険者数や認定者数から必要となる介護サービス量を勘案し、事業量を推計しています。第8期事業計画策定にあたっては、第7期事業計画において推計値と実績値に乖離が生じた原因を検証し、それを踏まえて給付費の推計を行いました。介護サービス量は高齢者個人の事情や、新型コロナウイルス感染拡大のような予期せぬ社会情勢の影響を受けて増減する可能性があるため、慎重に状況を考慮し、年度内の必要額を精査してなお多額の不用額が見込まれる場合は、必要に応じ、年度末において補正予算にて減額することを検討します。</p>

※詳細な「監査結果の内容」及び「措置結果の内容」については、『措置内容(回答).pdf』をご覧ください。